

産建教育常任委員会 議事録

日時：令和8年2月9日（月）

10：00～11：02

場所：第1・2委員会室

出席者

委員名 委員長 遠藤 龍之 副委員長 丸子 直樹 委員 高橋 真理子
委員 品堀 栄洋 委員 岩佐 孝子

欠席なし

会議次第

1 開会宣告 【委員長】

2 連絡

※ SideBooksの04_常任委員会 産建教育常任委員会フォルダに開催通知及び次第を格納しております。チームスにも併せて送信します。

3 事件

(1) 所管事務調査報告について

① 排水対策について

【委員長】ある程度町の方針等は確認できたが、他に委員から疑問などあれば委員間で伺う。

【品堀委員】県道から町道になった坂元地区の道路について、側溝の掃除を全くしていないことが判明し、排水の役割を果たしているか疑問。

【岩佐委員】坂元川の県との連携により徐々に進んでいる印象。継続して進めていただきたい。想定外の雨量対策として、山の切り崩しなど伐採が進んでおり、土砂流出が進んでいる。

【副委員長】市街地の冠水対策での県等の協力（排水）や、山側の調整池としての水田の活用できれば山側での防災対策にもなりえる。

【岩佐委員】田んぼダムなどの具体化を。

【高橋委員】一般質問もしたが、山林の手入れの取り組みが大切。AIの活用により対策案の検討を促しては。

【委員長】前回の調査でも様々な意見が出た。町ができること、できないことを議論しながら委員会の意見をまとめたい。坂元川周辺の問題については継続した対策に取り組む必要がある。件に対する強い要請が必要。

【岩佐委員】町だけではできないこともあるので要請は必要。

【委員長】抜本的な対策を求めるなら、県国、特に坂元川においては県に対しての要請をするべきである。田んぼダムについても、現実的に実現可能なのかという部分も想定。要望・希望として提案は可能と思うが。現在は他委員からの様々な意見を聞いて最終的に委員長としてまとめる材料として議論している。

- 【副委員長】坂元地区には先ほどの要望部分、他地区に対しては貯水池の整備検討を求める。
小規模なものはしっかり行ってもらい、大規模については他団体に対して要望
するべき。
- 【委員長】排水対策は以上とする。次に農業問題について、前回地域おこし協力隊、なり手不
足、丘通りの休耕地など様々出た。
- 【岩佐委員】チームス内が出たまとめが良くまとまっている。それを確認すればよいのでは

(休憩 ～10:45)

再開後、委員会意見の具体的校正を行った。

- (2) 次回閉会中継続調査について
次回委員会の際に検討とした。

4 その他

○次回開催（予定） 3月17日（火）午前10時00分～

5 閉会宣告 【委員長】